

令和7年度神奈川県肉豚共進会が開催されました

(一社)神奈川県養豚協会が主催する令和7年度 神奈川県肉豚共進会が、横浜中央卸売市場食肉市場で開催され、5月14日(水)に生体の部、5月16日(金)に枝肉の部の審査が行われました。

畜産技術センターからは、所長が審査長、普及指導課職員が審査員として参加し、その他各関係機関とともに共進会の運営に協力しました。

共進会には去勢・雌を1組として100組 200頭が出品されました。生体の部、枝肉の部でそれぞれ審査・採点し、去勢・雌の総合成績により順位を決定しました。

今年も各農場から選び抜かれた肉豚が出品されました。生体の部では、関節炎で1頭が低評価になってしまいましたが、それ以外の出品豚は体型の揃った健康な肉豚で高評価となりました。枝肉の部では、18頭(去勢8頭、雌10頭)が最上位である極上に格付される近年で最もレベルの高い共進会となりました。中でも名誉賞に選ばれた枝肉は肉量に富み、腿の張りや赤肉と脂肪のバランスに優れた枝肉でした。名誉賞を受賞した生産者の枝肉は、日頃から食肉市場での評価が高く、種豚・肉豚選抜の的確さ、飼養管理技術の高さ等、日頃の研さんの成果がうかがえました。枝肉の部当日は、多くの生産者が来場し、上位入賞を果たした生産者を囲んで、上場された枝肉の状況や市場の買参人に好まれる枝肉について、参加者相互の活発な意見交換が行われました。

その後のセリで、名誉賞の枝肉は、去勢4,185円/kg、雌5,001円/kgの高値で競り落とされると、歓声があがりセリ場は活況を呈していました。

畜産技術センターは、今後とも出品された豚の体型や枝肉の形状の評価をふまえ、各農場の豚肉生産技術向上の支援に努めていきます。



生体の部で審査をしているところ



名誉賞を受賞した枝肉(左:去勢、右:雌)